

## 事業所向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	事業所より
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	部屋は体の大きい子や車椅子の子等で狭く感じることもあるが、隣の部屋等を工夫して使用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	職員の配置数は適切です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリー構造にはなっているが、玄関のスロープに関してはスロープの幅を広げる工事をする予定。その他の改善の必要なところは、随時改善していく予定。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	積極的に話し合いや振りかえりが行われるような機会を設けていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	H30. 1に実施し、結果を踏まえ今後の業務改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	H30. 3ホームページにて公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者委員の選定を検討していきます。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部の研修には積極的に参加しています。今後、更なる職員の質の向上のために職場内研修についても今後実施していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	定期的にモニタリングを行い、ニーズを反映させています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントを適宜更新し、さらに質の高い計画書を作成していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	PDCAサイクルを徹底し、チーム全体として立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	手作りのおもちゃを用意し、活動の工夫を行っています。新年度より、新しい活動も準備しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	児童が選択できるような活動を準備し、本人たちがやりたい活動を行っています。今後は、より細かい課題をたて支援にあたっていくようにします。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1対1での活動はなかなか難しい状況にあるが、児童が各々好きなことをして過ごしています。今後は、集団の中で児童が関心をもてる活動を模索していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	時間を作り、細かく打ち合わせや振りかえりを行う機会を作っていきます。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	時間を作り、細かく打ち合わせや振りかえりを行う機会を作っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底して、支援の検証・改善につなげているか	今までよりもさらに細かく記録をとり、よりよい支援につなげていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的にモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせて支援を行っているか	ガイドラインについて全職員がもう一度読み込みを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議がある場合は、主に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校での行事などは、把握できています。 今後、定期的に学校での様子を聞き取りをしていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	主治医からの指示書もらっています。 また、看護師が常勤していて医療的ケアを必要に応じて行っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保育所等と情報交換を行う機会はないが、保護者や相談員を通して情報を収集してます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報を求められることがあれば、情報提供の協力をします。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	今後、山形県立こども医療療育センターの「地域療育機関への専門職員派遣事業」を検討していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	今後、地域社会とのふれあいを増やしていきます。 近くに学童クラブがあるので、交流する機会を作っていけたらと思います。
	㉗	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか	今後、積極的に参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡ノートや送迎時にその日の状況を伝え、共通理解に努めています。
	㉙	保護者の対応の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	児童の過ごしやすさは親の過ごしやすさにつながるため、トレーニング方法を学んでいきます。
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者から話を聞き、支援員間で情報を共有しています。 相談支援事業所にも相談しています。

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会、保護者会が発足された場合は、事業所として支援・協力していきます。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情解決責任者、苦情受付箱を設置しているが、箱を見やすい位置に移動したり、苦情申し立て書の作成等を改善していきます。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報はありません。 HPでの情報発信の頻度を高めていきます。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	不要な書類を即シュレッダー処理したり、個人記録はカギ付きの棚に収納しています。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	文章にルビを付けたり、視覚支援を行い、意思疎通を図っています。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域との交流を図れるようにしていきます。
非常時の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	玄関等、保護者のみやすい場所に設置して保護者への周知に努めます。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	長期休みに行う予定です。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	支援会議を多く設け、支援の質を高めていくと共に職場での研修の場を設けます。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束を行う場合を事業所として決定し、その上で保護者に了解を得て、支援計画に記載します。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者から契約時に口頭で情報を得ています。必要に応じて、医師の指示書もお願いしていきます。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット、事故報告書を作成し、再発防止に努めています。